

高規格救急自動車が寄贈されました

中標津消防署へ全国共済農業協同組合連合会北海道本部（JA共済連北海道本部）から高規格救急自動車が寄贈され、1月22日(月)に受納式が行われました。

J A共済連北海道本部では、安全で豊かな地域社会づくりや交通事故防止の一環として昭和50年からこれまで全道各市町村に救急自動車を寄贈しており、今回の受納式には同本部訓路支所の竹島支所長をはじめ、関係者20人が参加し、中標津町農業協同組合の飯島代表理事組合長より目録および寄贈マスコットキーが贈呈されました。

根室北部消防事務組合の西村組合長からは「住民の安心、安全を守る救急業務体制のさらなる向上を図る上で重要な高規格救急自動車の寄贈に対し、深くお礼申し上げる」と謝辞が述べられました。



令和5年度「ディスカバー農山漁村の宝」

中標津農業高等学校マネージメント研究班が選定されました。

農林水産省および内閣官房が「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第10回選定）として全国29地区を選定しました。

北海道からは中標津町の「中標津農業高等学校マネージメント研究班（コミュニティ・地産地消部門）」が選定され、さらには特に優良事例として優秀賞・特別賞「高校生の未来つくり賞」に輝きました。

農業を学ぶ高校生が「町へ恩返しできることはないか」と、地域の幼稚園児から中学生まで全学年に対する食農教育の先生として、18年間にわたり地域の特産物の栽培から地域イベントの創造まで幅広く活動していることが高く評価されました。

